

日本精神分析学会 第70回大会

シンポジウムテーマ
精神力動的アプローチの現状と課題

会場 名古屋国際会議場

〒456-0036 愛知県名古屋市中区熱田西町1-1

会長 鈴木 智美 精神分析キャビネ/
可也病院

実行委員長 木村 宏之 名古屋大学大学院
医学系研究科精神医学分野

2024年11月8日(金)~10日(日)

参加費	事前参加登録 9月11日~10月31日	当日参加登録 11月8日~11月10日	事前参加登録 9月11日~10月31日	当日参加登録 11月8日~11月10日	事前参加登録 9月11日~10月31日	当日参加登録 11月8日~11月10日		
会員:一般	12,000円	13,000円	非会員:院生	11,000円	12,000円	ランチョンセミナー	1,500円	2,000円
会員:院生	10,000円	11,000円	臨床ケースセミナー	3,000円	3,000円	懇親会	6,000円	7,000円
非会員:一般	13,000円	14,000円	教育研修セミナー	3,000円	3,000円			

大会事務局/株式会社コンベンション リンケージ内
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル
TEL:03-3263-8697 FAX:03-3263-8693 E-mail:jpa_am@c-linkage.co.jp

<https://www.seishinbunseki.jp/>



第1日目 11月8日(金)

■ 臨床(ケース)セミナー 現地開催のみ

CS-1 女子大学生における自立と別離

司会: 浅井真奈美 事例報告: 元木 幸恵 助言: 飯島みどり

CS-2 犀の角に憧れながらも、迎合を続けてきた 30代女性の心理療法過程

司会: 鈴木 誠 事例報告: 滝口 萌絵 助言: 奥寺 崇

CS-3 身体症状を手放せない青年期男性との面接過程

司会: 早川すみ江 事例報告: 和田 浩平 助言: 古賀 靖彦

CS-4 初回に刀を持参した幼児とのプレイセラピー過程

司会: 河邊真千子 事例報告: 米澤由美子 助言: 木部 則夫

CS-5 自殺企図を起こしたターミナル期のがん患者との ベッドサイドでのかわりについて

司会: 酒井 玲子 事例報告: 山村 真 助言: 江崎 幸生

CS-6 自分の心の声が聞こえなくなった女性との心理療法

司会: 若松 亜矢 事例報告: 今出 雅博 助言: 鈴木 智美

CS-7 逆境体験に曝され、翻弄され続ける 男児とのプレイセラピー

司会: 三宅 朝子 事例報告: 小野 和海 助言: 鶴飼奈津子

■ 教育研修セミナー S-1~14は現地開催のみ

S-1 日常臨床に活かす精神分析その4 —ケアの現場に精神分析は活かせるのか?—

企画者: 木村 宏之、祖父江典人 司会: 祖父江典人
演者: 近藤 麻衣、小池 徳子、日野 映
討論者: 筒井 良太、堀川 聡司

S-2 ネガティブと精神分析

企画: 館 直彦、増尾 徳行 司会: 檜山 笑、増尾 徳行
話題提供: 十川 幸司、増尾 徳行、松木 邦裕、館 直彦
指定討論: 日下 紀子、石田 拓也

S-3 関係精神分析におけるトラウマ—再考

企画者: 日下 紀子、岡野憲一郎 司会: 岡野憲一郎
話題提供: 横井 公一、吾妻 壮、岡野憲一郎、富樫 公一
指定討論: 長川 歩美

S-4 初歩から学ぶ精神分析的な精神療法の治療作用III 同一化と変容の過程について

企画者: 柴田恵理子、生田 憲正、平野 直己、岡田 暁宣
司会: 馬淵麻由子、遠藤 幸彦
発表者: 柴田恵理子、脇坂 陽子、橋本 隼人、鈴木 朋子
症例提示: 柴田恵理子 討論者: 海野 有希

S-5 心理検査と心理療法過程の比較照合(その6) 力動的な理解の実際

企画: 吉村 聡、北村麻紀子 司会: 中村留貴子
ロールシャッハの力動的解釈: 深津千賀子
事例提供: 松本 聡子 討論: 吉村 聡、北村麻紀子

S-6 精神分析と戦争: その2—戦争は精神分析家たちにどのような影響を与えたか?

企画者: 奥寺 崇、清野 百合 司会: 奥寺 崇
発表者: 北村 婦美、森 茂起、清野 百合 討論: 荻本 快

S-7 ビオンとパーソナリティの成長:シリーズ1

企画者: 衣笠 隆幸、小林 俊三、飛谷 渉、福本 修、皆川 英明
司会: 朝枝 清子、福本 修
話題提供者: 浅田 護、飛谷 渉、皆川 英明 指定討論者: 小林 俊三

S-8 子どもの精神分析的な心理療法とは何か? —臨床の実際に触れ、その輪郭と内実を描き出す—

企画: 木部 則雄、平井 正三 司会: 村田 朱美、吉沢 伸一
話題提供: 吉岡 彩子: 子どもの精神分析的な心理療法の臨床ケースの報告
指定討論: 小笠原貴史: 「観察」の視点を中心に
竹山 陽子: 「設定」の視点を中心に
松本 拓真: 「介入」の視点を中心に

S-9 治療者が患者を愛すること

企画: 池田 暁史、藤内 栄太 司会: 中村 浩平、鈴木菜実子
発表者: 池田 暁史、加茂 聡子、藤内 栄太
討論: 西 見奈子、藤山 直樹

S-10 思春期患者の希死願望の親ガイダンスでの扱い方 —思春期の発達課題の行き詰まりへの援助—

企画者: 岡田 暁宜、平野 直己、中 康、関谷 秀子
司会: 前原 智之、佐藤 篤司 発表者: 小田代夏子
症例提示: 中 康 質問と討論: 関谷 秀子、白神 理

S-11 生々しい体験を言葉にする営み2—原光景、エディプス空想

企画・司会：池田 政俊 司会：岡村 斉恵

話題提供：飯島みどり：原光景と「秘密」の心理

小林 要二：性、生々しいこととこころを開く

北山 修：原光景と性愛：川の字文化をめぐる

討論：尹 成秀

S-12 間主観性理論と発達臨床

企画者・司会：池 志保

話題提供者：森 さち子、池 志保、小泉 誠、Greg Kolodziejczak

指定討論者：山崎 篤

S-13 体験グループ

企画者：生地 新、相田 信男、加藤 隆弘、加藤 祐介、白波瀬丈一郎、
関 百合、西山 亜美、渡部 京太

当日のコンドクター：加藤 隆弘 コ・コンダクター：西山 亜美

S-14 自殺志向性(suicidality)とわたしたちの臨床

企画者：衛藤 暢明、白波瀬丈一郎、高野 晶

司会：水保 健一、縄田 秀幸

話題提供：衛藤 暢明：力動精神医学からみた自殺とポストベンション

高野 晶：精神療法における自殺志向性

井上 剛：身体疾患領域における「早い死への願望」

白波瀬丈一郎：自殺を語り議論することの創造性、あるいは希望

討論：伊藤 幸恵

■ 教育研修セミナー— オンデマンド(S-15~18のみ)2024年11月8日(金)から視聴可能

S-15 週一回の精神分析的サイコセラピー —特徴と独自性(1)介入、技法—

企画者：生地 新、日下 紀子 司会：尹 成秀

話題提供：飯島みどり、岡野 泰子、関 真粧美、中村 曜子

指定討論：生地 新、日下 紀子

S-16 さまざまな臨床現場におけるPOST (Psychoanalysis Originated Supportive Therapy)

企画：岩倉 拓 司会：山崎 孝明

話題提供：[学校] 大塚 由希 [総合病院] 小林 凌

[学生相談] 篠原 京子 [開業] 山口 貴史

指定討論：関 真粧美

S-17 精神分析とMBT

企画者：池田 暁史、松森 基子 司会：松森 基子、藤井 優子

話題提供：荻本 快、吉田 夕佳、仲谷 隆

指定討論：石谷 真一、今井たよか

S-18 抵抗分析について考える(作業する表層)： Close Process Attention

企画：岡田 暁宜、妙木 浩之

司会：岡村 斉恵

イントロダクション 妙木 浩之 抵抗分析の概説 岡田 暁宜

抵抗分析の実際 妙木 浩之

ディスカッション「抵抗分析を考える」

討論：野村 真睦、山崎 孝明、加茂 聡子

第2日目 11月9日(土)

■ 子ども青年臨床企画 現地開催(配信あり)

「子どもの精神分析的心理療法の現在」

司会：浅井真奈美、平井 正三 基調講義：木部 則雄

話題提供：医療現場から 村田 朱美・福祉現場から 綱島 庸祐

・教育現場から 井本 早織

指定討論：生地 新、鶴飼奈津子

■ 医療問題委員会・臨床心理委員会合同企画 現地開催(配信あり)

「プライベート・プラクティスを構成するもの —現代における精神分析的臨床実践—」

企画：加藤 隆弘、岩倉 拓 司会：加藤 隆弘、浅井真奈美

発表者：永田 悠芽、小笠原真史、衛藤 暢明、宮田 善文

指定討論：鈴木 智美、平井 正三

■ 講演と討論 現地開催(配信あり)

Psychic change and the movement between three zones of psychic functioning 心的変化と心的機能の三領域間の運動

講演：Rudi Vermote, M.D., Ph.D

司会：高橋 靖恵(京都大学/油山病院)

討論：北山 修(個人開業/白鷗大学)

松木 邦裕(日本精神分析協会/京都大学名誉教授)

通訳：Dalrymple親子(桜花学園大学保育学部国際教養こども学科)

■ 教育研修委員会企画 現地開催のみ

「研修症例の発表に向けて」

司会：鈴木 智美、衛藤 暢明 演者(講師)：池田 政俊、日下 紀子

■ 認定制度委員会企画 現地開催のみ

「認定制度の集い(オンラインスーパービジョンについて)」

司会：木村 宏之 登壇者：生地 新、清野 百合

討論者：岩倉 拓

■ エヴィデンスワーキンググループ企画 現地開催のみ

エヴィデンスの集い(ポスターセッション)

司会：鈴木菜実子

発表1：「生きづらさ尺度(仮)」の開発：数値化しづらい精神分析的臨床療法の効果計測のために(久保 太聖)

発表2：マルチトリートメントは、新型/現代型うつ特性を形成し、ひきこもりを引き起こすのか?：気分障害ひきこもり外来での自記式スケールを用いた多母集団同時分析(舩田 亮太)

発表3：アルコール性肝不全に対する肝移植における応用実践：サイコセラピーの質的検討(岸 辰一)

発表4：日本語での「自由」についての探索的研究(蓮井千恵子)

ランチョンセミナー(お弁当付き有料セミナー)

LS-1 「ひきこもりの精神分析的臨床と定量的研究の二足の草鞋」

司会：木村 宏之 演者：加藤 隆弘

LS-2 「方法としてのワークディスカッション」

司会：岩倉 拓 演者：鈴木 誠

LS-3 「こころはどこへ行くのか—愛なき時代の心理学」

司会：岸 辰一 演者：祖父江典人

第3日目 11月10日(日)

■ シンポジウム 現地開催(配信あり)

精神力動的アプローチの現状と課題

司会：池田 暁史(大正大学/個人開業) 高橋 靖恵(京都大学/油山病院)

シンポジスト：

子どもと家族の支援における精神分析的アプローチ：

平井 正三(御池心理療法センター)

病院の臨床：木村 宏之(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野)

精神分析からみた災害支援—同時多発的心的外傷に向き合う—：

衛藤 暢明(福岡大学医学部精神医学教室)

学校臨床における精神分析的な理解に基づく心への支援：

浅井真奈美(小泉心理相談室)

指定討論：白波瀬丈一郎(東京都済生会中央病院)

■ 学会賞(古澤賞)講演 現地開催(配信あり)

講演タイトル：日本精神分析学会と精神分析 回顧的省察

司会：松木 邦裕(日本精神分析協会/京都大学名誉教授)

講演：藤山 直樹(個人開業)

■ 学会出版賞(小此木賞講演) 現地開催(配信あり)

講演タイトル：出版文化と精神分析の行く末
—フレアールの創成に向けて

司会：森 さち子(慶應義塾大学)

講演：平井 正三(御池心理療法センター)